

特別講演 1

「嚥下内視鏡検査を用いた摂食支援」

日本歯科大学附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター長
菊谷 武 先生

私たちは、介護老人福祉施設の入居者を対象に、多職種による摂食支援カンファレンスを開催し、ケアプランを立案、実施することで、低栄養リスクの改善を目的とした取り組みを行っています。また、在宅療養者においては主治医やケアマネ、訪問看護師、管理栄養士、言語聴覚士とともに摂食嚥下機能の低下した患者にたいする取り組みを行っています。摂食機能の評価の際には、摂食時の口腔機能や姿勢などの外部観察評価や、頸部聴診法を併用し、摂食機能を評価しています。頸部聴診法などによって著しい誤嚥が予想される場合など、精密検査が必要と判断された入居者に関しては、これら職種と家族の立会いのもと嚥下内視鏡検査を行っています。私たちが、行っている在宅歯科医療や老人施設に対する訪問診療を紹介しながら、食を支える多職種との連携例を紹介させていただく予定です。